

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2019

August
No.1090

8月

表紙

第77回本高祭
仮装パフォーマンス



Pick up

- ✿ 防災行政無線をデジタル放送へ整備します
- ✿ 本別町戦没者・戦災死没者追悼式
- ✿ 本別高校を応援する集いを開催します
- ✿ 第23回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2019を開催します

防災行政無線をアナログ放送からデジタル放送へ整備します

防災行政無線戸別受信機の設置をお願いします

町では、今年度より防災行政無線のデジタル化に向け、2力年間で整備していきます。現在の防災行政無線では、アナログ式の無線により放送しており、農村地区や市街地の一部の世帯のみ設置している状況にあります。将来、アナログ放送が使用できなくなることや市街地において屋外スピーカーだけでは十分に聞き取れないことから、災害時の情報をより確実に伝達するため、多くのご家庭に戸別受信機の設置をお願いします。

整備・設置の内容

★戸別受信機 更新・設置

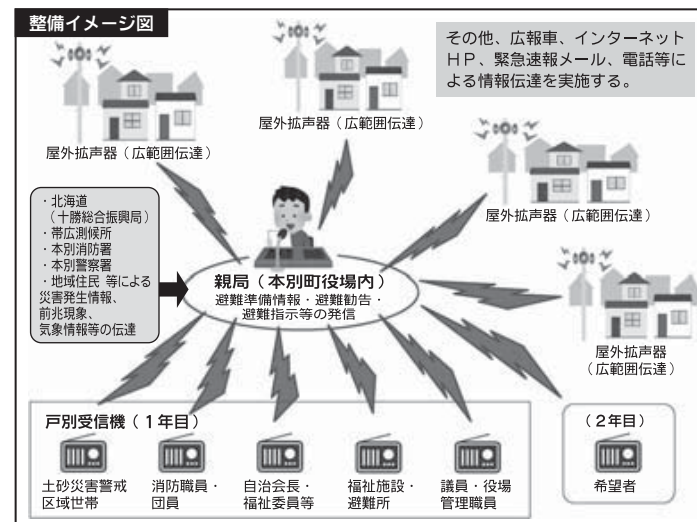
役場からの防災情報を受信します。通常はコンセントで動作し、停電時は乾電池で動作しますので、災害時には持ち出すことが可能です。

★屋外拡声器更新

役場からの防災情報を、屋外のスピーカーで放送します。

★再送信子局・簡易中継局の更新

役場からの電波が届かない地域において、受信できるよう再送信子局を2カ所（屋外拡声器に電波を中継する機能が付いたもの）と簡易中継局を1カ所（屋外拡声器がついていないもの）を整備します。



戸別受信機は2力年で整備します

【1年目】	【2年目】
 土砂災害警戒区域世帯 福祉施設、避難所、消防職員・団員 自治会長、福祉委員、民生員児童委員等 学校、保育所、議員、役場管理職員	 希望者

デジタル戸別受信機の特徴

- ①音量つまみが大きくなり調整がしやすく、緊急放送の受信等を表示するLEDライト等が取り付け可能で、高齢者にも分かりやすくなっています。
- ②留守録音の設定をすると最大60分まで録音が可能、60分を超えると古い順に上書き消去されます。
- ③通常時の音量調整……通常の放送時は戸別受信機の音量つまみで設定された音量で放送されます。
- ④非常時・緊急時の音量……緊急放送を受信した場合は音量つまみで設定された音量に関係なく自動で最大音量で放送されます。
※緊急放送時の音量：85dB（テレビの大音量程）
- ⑤乾電池での作動時間……最大168時間（単1型使用時）
※単1・単2・単3乾電池（各2本）のいずれも使用が可能です



防災行政無線戸別受信機設置のお願い

災害時の情報を迅速・確実に伝達するためご家庭に戸別受信機の設置をお願いします。

※今年度戸別受信機の設置の有無の意向を確認して来年度に設置します。戸別受信機の設置方法については設置業者があらかじめ連絡を入れたうえで自宅に訪問します

*戸別受信機の設置対象者

- ①町内に居住する世帯で、申請書を提出された全世帯
- ②町内にある申請書を提出された事業所
- ③公共施設など、町が必要と認める世帯・施設
※文字表示型戸別受信機については、聴覚に障がいを持つ身体障害者手帳の交付を受けている人が対象になります

*設置費用等

- ①戸別受信機および設置にかかる工事費や機材は町で負担します
- ②戸別受信機の電気代（月十数円）と乾電池はご負担ください
- ③メーカー保証（2年間）以降の修繕費用をご負担ください

*申込方法

- ①本別町広報紙折込「戸別受信機貸与申請書」に記入のうえ、10月31日までに、住民課へ提出してください
- ②申込書の提出が困難な人は、住民課までご連絡ください

*設置基準

- ①一般世帯、住民票1世帯 → 戸別受信機1台設置
- ②同一敷地、住民票1世帯（実際には別住居） → それぞれに戸別受信機1台設置
- ③同一住居、住民票2世帯（二世帯住宅） → 戸別受信機1台
- ④公営住宅、民間集合住宅 → 各世帯からの設置申請により、戸別受信機1台設置
- ⑤事業所 → 事業所からの設置申請書により戸別受信機1台設置
- ⑥住居兼用の事業所 → 世帯同様居住スペースに戸別受信機1台設置

*設置工事

- ①設置工事は指定業者が作業員証（名札）を所持して訪問します
- ②設置に関わる費用や戸別受信機の使用料を請求することは一切ありません
※万一費用等を請求された場合は、住民課までご連絡ください

問い合わせ

住民課 環境生活担当

☎22-8128 FAX 22-5950

※戸別受信機を設置後、次の方は役場住民課まで連絡願います

- ・戸別受信機が故障したり、紛失した場合
- ・町内で転居する場合（設定変更が必要です）
- ・町外へ転出する場合、戸別受信機が不要になった場合

未来へと伝える



本別空襲の悲劇と 平和の尊き

1945（昭和20）年7月15日、多くの町民が犠牲となった本別空襲から74年。北海道で5番目、十勝で最大の被害となった町で、空襲の傷跡は少なくなってきましたが、戦争がもたらした多くの悲劇を問い直し、令和の新しい時代に、あらためて平和の大切さを伝えていかなければなりません。

ほんべつ学びの日祈風事業

資料館企画展

「7月15日

本別空襲を伝える

～本別から戦争を語る～」

今回の企画展では、1階で本別空襲のみならず、世界の各地で戦争を体験した人たちの資料を紹介。寄せ書きされた日章旗、身に着けていたお守りのほか、出征した戦地を示す地図とそこでの体験記などが並んでいます。激戦の様子、食糧不足や病気で亡くなった人のこと、終戦後の引き揚げなどの記録が戦争の恐ろしさを物語っています。2階には「平和のための戦争展」室蘭実行委員会の協力により、室蘭空襲と艦砲射撃に関する写真パネルを展示。本別空襲と同時期に空襲を受け、道内唯一の艦砲射撃で甚大な被害にあった市街と市民の生活の様子を紹介しています。



参列者全員で献花



戦争による犠牲者の方々の冥福を祈り、恒久平和を願う「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が7月15日午前10時から、遺族や来賓など約85人が参列し、向陽町ふれあい交流館でしめやかに執り行われました。

本別町戦没者・戦災死没者追悼式

平和への誓い新たに
7月15日

本別町では、日清・日露・第2次世界大戦の戦役で299人が戦死。終戦直前の昭和20年7月15日には、米軍機による空襲で40人が犠牲になり、十勝で最大の被災地となりました。追悼式では、全町民に黙とうを呼び掛けたサイレンが吹鳴され、参列者全員で黙とうを捧げた後、高橋正夫町長が「戦後70有余年の長い歳月が過ぎ、時の流れは悲惨な戦争の記憶を風化させ、平和の尊さを忘れさせようとしています。国際社会では現在もお互に力による紛争が続いていることを考えると、今こそ真剣に恒久平和の実現に努めるとき。あの悲惨な歴史を二度と繰り返さぬよう、町民とともに決意を新たにすることが今に生きる私たちの課せられた責務であり、最上の務めです」と式辞を述べ、高橋利勝町議会議長、砂原勝社会福祉協議会会長、政木高治本別町遺族親睦会会長らが追悼の言葉を送りました。続いて参列者全員で献花を捧げ、犠牲者への冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

冥福を祈り
慰霊碑を清掃

追悼式に先駆け、戦没者・戦災死没者遺族親睦会の会員8人が7月11日に、戦死や戦災で亡くなった人の冥福を祈り、本別神社内にある戦没者慰霊碑の清掃奉仕を行いました。





読み聞かせに聞き入る1・2年生



室蘭空襲の資料を見学

勇足中学校 7/12

勇足中学校（椿原雅章校長）の全校生徒24人が、資料館友の会会員の今野保雄さんから本別空襲の体験を聞いた後、企画展を見学しました。



戦地の状況を聞く生徒たち



本別空襲の状況を聞く語りべの会

勇足小学校

勇足小学校（橋本知洋校長）の全校児童45人が資料館を訪れ、低学年と中・高学年に分かれて見学しました。

平和学習の一環として、町内の小中学校児童・生徒が7月8日、12日、18日に歴史民俗資料館の企画展を訪れました。児童・生徒らは展示資料について、資料館友の会（高橋利勝会長）会員から説明を受けたり、戦時中に子どもだった同会員から当時の生活や本別空襲の体験談について話を聞いたりして、平和への理解を深めました。

戦争の恐ろしさと

平和の尊さを子供たちへ伝える

7/8



不発弾の実物大模型を見て、本別に落とされた爆弾の大きさに驚く児童



直剣なまなざしで聞く児童

中央小学校・仙美里小学校

中央小学校（式見祝賀校長）の1年生34人と仙美里小学校（東森誠記校長）の1年生5人が一緒に、戦争時代を語る絵本の読み聞かせの後、企画展を見学しました。

戦争時代の食事を体験

(雑穀ご飯と油味噌)



本別から出征した人たちが、どこで亡くなったかを示す太平洋周辺地図

・本別から出征した方の資料

●展示資料の一部紹介



弾よけのお守りとして身に着けていた千人針



戦地での出来事や広くなられた状況などを紹介するパネル

戦争体験資料や空襲記録から

● 室蘭空襲資料

室蘭では空爆のほか、軍事工場である日本製鋼所室蘭製作所と日本製鉄輪西製鉄所、軍用機のために作られた八丁平飛行場を目標けた艦砲射撃を受け、400人以上が亡くなりました。



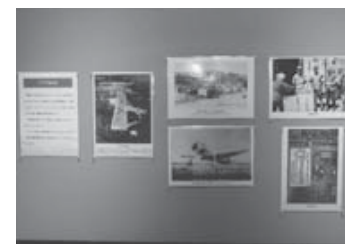
着弾により10mの大きな穴が開いた痕



16インチの砲弾で破壊された日本製鉄輪西製鉄所



当時の室蘭の人たちの生活を紹介する資料



標的となった八丁平飛行場の資料

第27回 スターフェスティバル



第27回スターフェスティバル（銀河通り推進協議会主催）が7月13日、銀河通り歩行者天国で開かれました。

傘を片手に ビールを飲み干す

当日はあいにくの雨にみまわれ人出が心配されましたが、午後5時を過ぎる頃には傘をさした多くの人が会場につめ掛け、家族連れや友人同士などと食事を楽しんだり、ビールやチューハイを飲み干すなど、初夏のイベントを満喫しました。会場内では、本別の食材を使ったピザや焼きそば、炭焼きのかきや焼き鳥などを提供する屋台が並び、多くの来場者が買い求めたほか、特設ステージでの、義経太鼓保存会の演奏やダンシングスターの演舞、ものまねステージで盛り上がり、特賞・沖縄ペア旅行券が当たるビンゴ大会では、数字が揃うたびに大きな歓声が上がっていました。



義経太鼓演奏



ダンシングスター



傘片手に来場



子ども縁日



ものまねステージ



ビンゴで商品ゲット！



本別町起業家等支援事業成果発表会

苦労と努力で 着実に事業を展開

町では、起業の促進によって産業や商店街の活性化、雇用拡大を図ることを目的に、起業家や新製品の開発に対する支援を平成24年にスタートし、平成30年度で7年が経過しています。この間、同制度を活用し、起業で25件、新商品開発等で14件、合計39件の計画が認定されています。

発表会では、高橋正夫町長のあいさつの後、平成28年から30年にかけて認定を受けた3人が、起業や新商品開発に関する苦労話や現在の状況、今後の抱負を語ったほか、支援への感謝の言葉などが述べられました。事業計画審査委員からは、「きなこと抹茶のコラボは、思いつきが素晴らしい」「地元への思いが強く感じられ、着実に事業を展開されている」など好評がありました。

発表会の後には、同会場で懇親会が開かれ、今後の事業展開などに関して意見交換をしました。

町起業家支援等支援要綱を活用して、起業や商品開発に携わった個人や企業の成果発表会が7月9日、津村会館で開かれました。

平成30年度に本事業を活用し、開業または新商品を開発した事業者は次の通りです。

起業家等支援事業

開業となった事業者	住 所
杉 田 璃 菜（飲食業）	北3丁目
宮 崎 圭一郎（飲食業）	北4丁目

新商品開発

事 業 者 名	開発された新商品
(有) 松 月 堂	抹茶きな粉クリーム ロールケーキ



苦労や抱負を語る発表者



参加者で試食

起業家等支援事業成果発表会

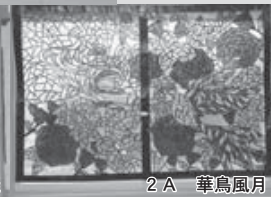
1 A 青紫輝夏
2 A Be together as one
3 A 舞



吹奏楽部演奏



電撃イライラ棒



ステンドグラス

NEW!!
～本高の新になる！へーじ～



本別高校（近藤浩文校長・105人）の第77回本高祭が7月13日・14日の2日間、同校で開催されました。



今年の本高祭は、両日とも雨にみまわれ日程や恒例の仮装パフォーマンスの会場を変更。初日の13日には、本別高校体育館でクラスごとの演劇や合唱を発表したほか、14日には、仮装パフォーマンスが同校体育館で行われ、生徒らは、クラスターマに沿った仮装衣装を身にとまて息の合ったダンスを披露し、詰め掛けた保護者や地域の人たちから大きな拍手が送られました。続いて、クラスCMや特別芸能、バザー、クラスごとの縁日を出店するなどさまざまな催しに、子どもから高齢者まで多くの人が訪れ、本高生たちは、地域とともに盛り上がりました。



演劇発表

1A 青春しよーぜ
2A タイタニック
3A どこにでもあるふつふつの話

見て! 聞いて! 知って! 本別高校を応援する集いを開催

本別町・本別町教育委員会・本別高校の教育を考える会では、「見て! 聞いて! 知って!」伝統ある本別高校を応援していく体制をつくるため「本別高校を応援する集い」を開催します。

学校活動、授業、進路の状況や、いきいきと学び自分の夢を実現させるため頑張っている生徒の姿を紹介しますので、本別高校の保護者や町内小中学校の保護者をはじめ、多く町民の皆さんや本別高校を応援してくださる方の参加をお願いします。



とき 8月7日(水) 午後7時
ところ 本別町中央公民館 大ホール

- 内容**
- オープニングセレモニー
本別高校吹奏楽部演奏
 - 本別高校の取り組みについて
学校行事、学習活動、部活動、進路の状況
■生徒代表から ■校長から ■保護者から
 - 本高カレー試食会 **本高生が考案**



本高生が探究活動の時間に考案した本別の特産品を使い、スパイスから作ったカレーの試食会を開催します。どうぞ召しあがってみてください。



問い合わせ 本別町教育委員会 管理課 ☎ 22-2331

神居山遊歩道などを整備しました

町観光協会（朝日基光会長）では、平成28年秋の台風・大雨災害により損害を受けた「神居山遊歩道・展望台」を、一般財団法人日本森林業振興会の助成を受け復旧整備を行いました。

特に、倒壊が著しかった「木柵」(①)や遊歩道「枕木」(②)「木橋」(③)の交換、のり面の「土留め」(④)、展望台の「塗装」(⑤)など、登山で利用される皆さんにとって安全で快適な遊歩道の整備を行うことができました。



たくさん利用してください

日常から森と川の舎（新津和一代表・会員13人）のボランティアの皆さんが、気持ちよく歩きやすい遊歩道となるよう環境整備を行っていただいています。



森と川の舎の会員が、毎日登山をしながら熊のふんや足跡等を確認しています。登山の際は、鈴などを装着して楽しんで登ってください。



問い合わせ 企画振興課 商工観光・元気まち担当 ☎ 22-8121

第23回 ほんべつきらめき タウンフェスティバル2019

23TH HONBETSU KIRAMEKI TOWN FESTIVAL 2019

8/31(土)

9/1(日)

利別川河川敷特設会場

東十勝
花火大会
8月31日(土)
午後7時30分～



歌謡ショー
9月1日(日) 午後6時～

主催：本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会

プログラム (予定)

1日目 (8/31)

午前11時00分 うまいもの市、売店コーナー
午後1時00分 ふわふわランド
フリークライミングウォール
午後2時30分 陸上自衛隊第5音楽隊演奏
午後5時30分 道新プレゼンツ
「FMウイングススペシャルステージ」
(音楽イベント)
午後7時00分 開会式 & 花火点火セレモニー
午後7時30分 **東十勝花火大会**
6,000発の花火が本別の夜空を彩ります
※花火終了後にお楽しみ抽選会があります
午後9時00分 閉会

2日目 (9/1)

午前10時00分 うまいもの市、売店コーナー
ふわふわランド
フリークライミングウォール
ポニーばん馬レース
午前11時00分 キャラクターショー1回目
午後0時00分 郷土芸能
午後2時00分 キャラクターショー2回目
午後3時00分 FM-JAGAステージショー
(Bean's-1GP・お笑い)
午後6時00分 **HBC 歌謡ショー**
出演者／純烈・岡本真夜
※歌謡ショー終了後にお楽しみ抽選会があります
午後8時30分 閉会

※プログラムは現在調整中です。詳しくは、8月15日号くらしの情報紙「かけはし」でお知らせします。

問い合わせ 役場企画振興課 商工観光・元気まち担当 ☎22-2141

・外国に居住する人(日本人)
20歳から65歳までの間
※老齢基礎年金を繰上げ受給している人や、厚生年金(共済組合)に加入している人は加入できません。
※申し出のあった月からの加入となり、さかのぼって加入することはできません。

【手続先】
役場住民課戸籍年金担当窓口または市役所年金事務所

【手続きに必要なもの】
・マイナンバーカードまたは通知カードと本人確認書類(運転免許証等)
・年金手帳または基礎年金番号通知書
・預貯金通帳と通帳の届け出印

【保険料と納付方法】
国民年金保険料は第1被保険者と同額です。(2019年度は月額16,410円)
納付方法は口座振替になります。(外国に居住する20歳以上65歳未満の日本人は除く)

帯広年金事務所

☎0155-250-8113

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ

☎22-8128

日本年金機構のホームページ
<https://www.nenkin.go.jp/>

国民年金
コーナ
ー

ご存知ですか?

国民年金の

任意加入制度

その208

老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)の受給には、原則として国民年金保険料の納付済期間と免除期間などを合わせた10年以上の期間が必要です。また、満額(2019年度は78,010円)を受け取るには20歳から60歳までの40年間保険料を納めることが必要となります。10年の資格期間に満たない人や、保険料の納め忘れなどにより満額とならない人は、60歳から国民年金に任意加入をして受給資格を満たしたり、受給額を増やしたりすることができます。

【任意加入できる人】
・受給資格期間を満たしていない人
60歳から70歳までの間
・年金額を増やしたい人
60歳から65歳までの間



各学校の手作りページ

HELLO 勇足小学校

学校教育目標

- ◇よく考える子
- ◇思いやりのある子
- ◇ねばり強い子
- ◇明るく元気な子

教育目標実践化

- あ あいさつ
- い 一生懸命
- う 美しい歯
- え 笑顔
- お 思いやり

入学式

9人の元気いっぱい
でかわいい1年生が入学しました。



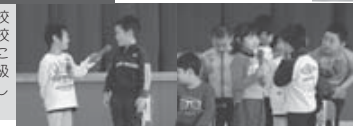
参観日

緊張しながら発表する子供たち。



1年生を迎える会

1年生が早く学校に慣れ、楽しい学校生活が送れるように楽しい企画を各学級で考え、実行しました。



勇足小学校（橋本知洋校長・全校児童45名）では、「いつでも どこでも あかるくあいさつ」を合い言葉に児童一人ひとりの豊かな人間性の育成を目指しています。地域の豊かな自然・人材を活用した教育活動を通して、子供たちは伸び伸びと元気いっぱい学校生活を送っています。

交通安全教室

実際に歩行したり自転車に乗ったりして、交通ルールの大切さを学びました。



防犯教室

自分の身は自分で守るよう
に身の守り方を学びました。



運動会

遊び渡る青空の下、
運動会を行いました。



避難訓練

避難の仕方の練習
の後は、消火訓練を行いました。



さまざまな活動を通して、他者に対して自分の考え等を根拠とともに明確に説明しながら、対話や議論を通じて多様な相手の考えを理解したり自分の考えを広げたりして、協働していく力を育てています。

エトセトラマーケット

縦割り班で計画・準備をし、お店を運営する活動です。



代播き・田植え

J A 青年部の方々のご協力
で今年度もお米を育て、お餅をつく予定です。



第3回目は、本別町出身で帯広百年記念館学芸員の大和田努さんに、歴史民俗資料館が所蔵する古い実物資料から仙美里の歴史について紹介していただきます。

鈴木勝太郎さんと仙美里



② 函館農場事務所

今回は、仙美里の開拓について紹介します。仙美里地区には明治30年から農場が開かれます。入植者のリーダーになった人物が鈴木勝太郎さん（写真①）で、農場名を「函館農場」（写真②）といいます。仙美里なのに函館？疑問に思いませんか？



① 鈴木勝太郎翁
(1857～1925)

土地を取得したために、こうした名称を用いました。現地の管理人を任された鈴木さんは、もともと木古内で村総代の職にありました。第1回で紹介した勇足地区の開拓者東條儀三郎さん、また故郷徳島県で村長を務めた人物です。2人とも、手腕をかわれて土地の持ち主から派遣され、開拓事業の実務を担いました。

函館農場では、開拓事業が困難なために働く人が不満を募らせることもあったようです。仙美里は内陸部にあり、物資の運搬に苦労があったことが記録されています。それでも、鈴木さんはさまざまな県からやつてきた農民の代表として尽力。仙美里の農業組合や児童保護者会の代表になり、さらに村議会議員としても活躍しました。鈴木さん、その下で働いた人々の奮闘は、現在の仙美里地区が形成される一つの原動力になりました。

この便器、実はいろいろと可能性を秘めています。江別市にセラミックアートセンターという陶磁器の博物館があり、平成28年に「トイレにみるやきもの文化」という陶磁器製便器の企画展を実施しました。陶磁器製便器は明治二十年代後半に瀬戸地方で本格化し、流麗な染付が施されて人気を博したそうです。展示に際して道内の陶磁器製便器の調査が行われ、函館農場の便器の所在確認がなされました。



③ 函館農場陶器製便器

お問い合わせ

歴史民俗資料館
☎ 22-2141
(内410)

図書館
☎ 22-5112

が、全道・全国の他の似たような資料と比べられ、当時の世相や社会を知る貴重な研究材料となりうるのです。歴史民俗資料館でしっかりと資料を保存しておくことで、資料にさまざまな可能性が出てきます。



伝統文化 子ども教室開講

6 28

本別伝統文化継承会（戸田京子会長）による伝統文化子ども教室の開講式が6月28日、中央公民館で開かれました。日本の伝統文化に触れることを目的として今年で13年目となる取り組みに、町内の小学生8人が参加。戸田会長は、「お茶教室を通して基本的な作法を楽しみながら学び、日本の歴史と美しい伝統文化を受け継いでほしい」と語りました。同教室は10月までに9回の実技活動を行い、児童らは、町の文化祭や学びの日フェスティバルで成果を披露する予定です。



奉仕活動に汗

6 29

本別町建設業協会二世会（三村智勝会長）が6月29日、町道愛のかけ橋通りの草取りや土砂溜りなどの清掃作業を実施しました。これは、地域貢献活動の一環として取り組まれたもので、参加した会員10人は、歩道の縁石付近に生えた雑草をスコップなどで丁寧に取り除くなど、奉仕活動に汗を流しました。



チャシ公園が きれいに

6 23

弥生町自治会（吉井勝彦会長）の会員10人が6月23日、同自治会内にあるチャシ公園の塗装ボランティアを実施しました。会員らは、隣接の中央小学校児童や町民の皆さんに同公園を気持ちよく利用してもらおうと、階段や手すりを刷毛などで丁寧に色を塗り、施設がきれいに生まれ変わりました。



白糖大漁まつりで 物産をPR

6 23

町観光協会（朝日基光会長）などが6月23日、白糖町で開催された「第23回港in白糖大漁まつり」に出店し、町の特産品をPRしました。販売したのは、黒豆や小豆、味噌や豆腐、甘納豆などのキレイ豆商品のほか、黒豆味噌を使った豚まんの「黒まん」など約40種類で、今回で7回目の出店。白糖町民をはじめ、多くの来場者から注目を集め、大盛況となりました。本別町と白糖町は平成25年に「包括交流連携協定」を締結し、交流事業としてお互いのイベントに出店しています。



花で町がきれいに

6 19

鎌田建設（鎌田健治社長）が6月19日、町道共栄緑町通りにマリーゴールドやペコニヤなど700株の花を植えました。これは、地域貢献活動の一環として行われたもので、作業員8人は、耕された土をシャベルで掘り起こし、丁寧に花を植え付け、秋まできれいな花を咲かせますようにと意思を込めながら作業を行いました。



あかげら少年団が スタート

6 22

町教育委員会主催の「あかげら少年団」が6月22日、町体育館で結団式を行い、町内小学校3～6年生の年間登録団員8人で今年度の事業がスタートしました。今年も同少年団活動への参加については、年間登録団員のほか、事業ごとに参加者を募り活動していきます。前期第1回目「たこ揚げに挑戦！」には、団員のほか一般参加者も含め12人が参加。町体育館で町スポーツ推進委員の指導のもとたこを製作し、たこ揚げは、屋外が雨天だったため会場を同体育館大ホールで行い、児童たちは、元気に走りながら飛ばしました。



元気学宿で理科実験

6 16~21

第17回ほんべつ元気学宿（実行委員会主催＝山下健司実行委員長）が6月16日から21日の6日間、中央公民館を主会場で行われました。町内の小学校3年生～6年生17人が、毎日下校後に買い物や炊事洗濯に挑戦したほか、今回の学宿では、18日に町内の小・中・高校が連携し理科教育の振興を進める「本別理科教育プロジェクト」の一環で、本別高校（近藤浩文校長）の生徒4人による理科実験の特別授業が行われました。実験では、洗剤に海面活性剤を混ぜ合わせしゃぼん玉を割れにくくする実験などに挑戦。児童たちは、調査した割合で割れずに跳ねるしゃぼん玉に、大喜びしていました。



介護の仕事について学ぶ

6 19

本別高校（近藤浩文校長）で全校生徒105人を対象に福祉の仕事学ぶ講演会が6月19日、同校で開催されました。講演会では、最初に町総合ケアセンター職員から本別町の高齢化率の推移や介護サービスの現状と担い手が不足している状況について説明。続いて、町内の介護施設で働く職員3人から介護の仕事について講和し、介護の仕事とは「一人ひとりに寄り添い思いをくみ取りながら生活のお手伝いをしていくことが大切」などと語り、生徒たちは、介護の仕事に理解を深めました。





雨でも 夜でかけナイト

7 5

第45回夜でかけナイト（実行委員会主催）が7月5日、北2丁目から4丁目の商店街で開催されました。会場内では、子ども縁日やバルーンアート体験会、大抽選会などの催し物が行われたほか、各店自慢の味の商品やビール、焼き鳥を販売する屋台もあり、当日は雨の降る少し肌寒い中でしたが、多くの来場者で賑わいました。



親子でサッカーに 親しむ

7 6

スポーツボランティア（中島由昌チーフ）とサッカー協会主催による「親子サッカーフェスティバル」が7月6日、河川運動公園球技場で開催されました。このフェスティバルには、町内などから約20人の子供たちが参加。鬼ごっこなどの遊びでウォーミングアップを行った後、サッカーボールを使い親子でパス練習や、3グループに別れ互いの陣地のボールを手や足で取り合うゲームなどを行い、自分のチームが一番になると子供たちは、大喜びしていました。



本別で十勝消費者 大会を開催

7 5

第44回十勝消費者大会（十勝消費者協会連合会主催）が7月5日、中央公民館で開催されました。この大会には、管内13消費者協会の会員や一般参加者など約200人が出席。「進めよう地産地消の拡充！学ぼう安心安全な食生活！」をテーマに基調講演やパネルディスカッションなども行われました。基調講演では、北海道・地域と職のプランナー 坂山嘉友氏を講師に「特産品は地域の魅力を映す鏡～道内の取り組み事例から～」と題し、オホーツク地区において地場産品のお麦で地域おこしに取り組んだ事例を紹介し、「地元の特産品を食べることで地域を支え、商品を磨いていくことにつながる」と述べ、参加者たちは、地産地消の重要性に理解を深めました。



高橋健一さん叙勲

7 5

高橋健一さん（柏木町）が瑞宝双光章を受章し7月5日、本別町役場で十勝総合振興局 須藤正之副局長から勲記と勲章が授けられました。高橋さんは、昭和48年から平成24年までの39年間、本別消防署員として本町の予消防ならびに災害活動における指揮等に当たられ、消防署長を経て平成24年から平成28年までの4年間は池北三町行政事務組合消防指令長として尽力されました。



グループではしご酒

7 3

町内飲食店を飲み歩く第8回はしご酒ナイト（実行委員会主催）が7月3日、町内の18飲食店で行われました。今回は、このイベントに職場仲間や友人同士のグループなど過去最高の230人が参加。最初にアースホールに集まり、抽選会を行った後、受付で指定された4店舗をはしごし、各店でおつまみと1ドリンクを楽しみながら会話を花を咲かせました。



災害時の 対応について学ぶ

7 4

町主催による気象データを見ながら避難指示を出すタイミングなどを考える防災研修会が7月4日、中央公民館で行われました。この研修会は、本別町職員のほか、足寄町、白糠町職員など関係機関の25人が参加。釧路地方気象台小松将博予報官や帯広測候所吉田正博予報官のアドバイスを受けながら、4グループに別れ、気象台から提供されたデータなどを基に対応や避難指示をいつ出すべきか、住民のだれに何を伝達すべきかなどをワークショップ形式で話し合いました。参加者たちは、データをどう活用していくか、その先を想定していくことが重要と再認識しました。



美しい音色で 観客を魅了

6 29

第36回吹奏楽合同演奏会（町文化協会主催）が6月29日、中央公民館で開催されました。演奏には、本別ジュニアアンサンブル、本別中学校吹奏楽部、本別高校吹奏楽部、本別ブラサンサンプルの4団体59人が出演し、映画やアニメソング、聴き慣れた歌謡曲など14曲を、日ごろの活動成果として披露。最後には、4団体合同によりアンコールを含め3曲を演奏し、会場を訪れた家族や友人たち230人の観客を魅了しました。



陸上少年団が 全道出場を報告

7 1

十勝の予選を突破し、7月14日、15日に札幌市で開催される第37回北海道小学生陸上競技会に出場する本別陸上少年団（葛西尚代表指導者）の団員6人が教育委員会を訪れ、佐々木基裕教育長に全道大会出場を報告しました。選手らは、「決勝に残れるように頑張ります」と力強く抱負を述べ、佐々木教育長は「目標を達成できるよう頑張ってください」と激励しました。





本高で 進路学習イベント 7 19

本別高校（近藤浩文校長・105人）で進路学習イベントの「本高・進路 Quest（クエスト）」が7月19日、同校で開催され、職場別の模擬体験事業や学校別の進路ガイダンスなどが行われました。このイベントは、本別高校全生徒をはじめ、生徒の保護者や町内外の中学生の保護者、教職員などを対象に今年で3回目の開催。職業別の模擬体験事業には、同校生徒のほか町内の中学3年生も参加し、美容師や調理師、自動車整備、公務員など11の業種から興味のある教室に分かれて、大学や専門学校等の講師から実技などの授業を受けました。また、午後からは、約90の大学や短期大学、専門学校、企業などが参加し、生徒や保護者を対象に進路ガイダンスが開かれました。



自治大学へ派遣研修

教育委員会管理課堤智貴主査（45）が8月22日から10月9日までの期間、研修のため自治大学（東京）へ派遣されます。研修では、法律や政策などの行政執行に必要な知識を学びます。



三町の町民が スポーツで交流 7 3・7

第57回東北北部体育大会が7月3日、7日の2日間、本別町体育館など3会場で開催されました。この大会は、3町の交流を目的に本別・足寄・陸別が揃う4種目6競技の町対抗戦で行われ、今年度は本別町が当番町。3町から出場した約160人の選手たちは、野球やパークゴルフなどで熱い戦いを繰り広げるなど、互いに交流を深めました。



第7次総合計画 策定審議会が始動 7 10

令和3年度からのまちづくりに向け、将来の町のあるべき姿と進むべき方向性について基本的な方針を検討する第7次本別町総合計画策定審議会第1回会議が7月10日、町体育館で開かれました。始めに、町内団体から推薦を受けた22人と、応募による4人へ委嘱状が交付され、会長に杉臣幸恵さん（町消費者協会会長）、職務代理に北谷和雄さん（町自治会連合会会長）が選任されました。会議では、高橋正夫町長から同審議会に新たな時代に対応する総合計画の策定審議を諮問した後、町の担当者から総合計画の位置づけと役割、町の財政状況について説明を受け、来年度、審議結果を答申するまでの活動について確認しました。



農大祭で楽しい1日 7 7

第46回農大祭（実行委員会主催）が7月7日、北海道農業大学校（赤池政彦校長）で開催されました。会場では、同学生が運営し、仙美里ヶ丘ブランドのチーズやソーセージ、牛乳の販売や、焼き鳥やかき氷などの食べ物を提供する屋台を出店したほか、販売された牛肉や豚肉で多くの家族連れなどが、用意された焼き台で焼肉を堪能するなど、学生とともに楽しい1日を過ごしました。



60人が集い 町民ゴルフ 7 7

第22回本別町民ゴルフ大会（実行委員会主催）が7月7日、帯広白樺カントリークラブで行われました。競技は18ホールストロークプレー、ダブルベリア方式で行われ、参加した60人は、鋭いショットを繰り出しながら白熱した試合を展開しました。この他会場では、本別町のスポーツ振興を目的としたチャリティーボックスが設けられ、集まった募金60,000円は本別町スポーツ振興基金へ寄付されました。成績は次の通り。

優勝＝山根 裕二さん
準優勝＝山本 光明さん
第3位＝山下 鉄次さん



水上レクに夢中 7 6

町教育委員会主催のあかげら少年団の前期プログラム「水上レクリエーション」が7月6日、町民水泳プールで開催されました。団員や一般参加の16人の子供たちは、2チームに分かれて水中玉入れやターザンジャンプ、疊ほどの発泡スチロールの板を駆け抜ける浮き島渡りなど5種目のゲームに挑戦しました。参加者たちは、普段は出来ないプールでの遊びを、夢中になって楽しみました。



若者が集い 焼肉で交流 7 6

ほんべつの若者の輪創造プロジェクト実行委員会（細田拓郎実行委員長）による交流イベント「焼肉でafternoon（アフタヌーン）」が7月6日、道の駅ステラ★ほんべつ東側芝生広場で開催されました。このイベントは、JAや商工会など町内の5つの青年団体を中心に、町内に住む人や町内で働く若い人たちの交流として行われたもので、焼肉のほか、鼻歌曲名当てクイズや町内の飲食店で使える割引券などが当たる抽選会なども行われ、参加した66人は、会話を弾ませ交流を深めました。



みんなの健康

420

最近、何かと話題の「糖質制限ダイエット」。なぜ、こんなにはやっているのでしょうか？

今まで何をやっても減らなかった体重……。それが簡単に落ちると聞いたうれしくて飛びつきたくなります。

糖質制限ダイエットの落とし穴

活を長期にわたって続ける

炭水化物の摂取を極端に減らすと、短期間でかなりの体重が落ちます。体重の数値や外見など、目に見える変化のスピードが速いことが特徴的。また、糖質を多く含む食品は、主食と呼ばれるご飯・パン・麺類にあり、食事の中で最も多い量を食べています。そのため、比較的簡単に食事の量を減らせるというのも流行の要因の一つです。

でも、このダイエット法には落とし穴があります。体重が減るからと、安易に糖質を制限し過ぎてしまつと、疲れやすくなつたり、集中力が欠けてしまつたりします。また、糖質が不足すると、体は筋

肉を分解して補おうとするので、筋肉量が減つてしまつという危険性もあります。安全に糖質ダイエットを行うためには、①主食を減らすのは普段の半分まで、②糖質を減らした分はタンパク質・脂質をしっかりと食べる（いくら食べても良いわけではありません。食べ過ぎは禁物です）、③食物繊維をしっかりと食べる、④三食バランスよく糖質を減らす、など注意すべき点がいくつもあります。

糖質制限ダイエットなど、短期間で減量効果が現れる「その裏」には、栄養バランスが崩れた食生活

「落とし穴」になりにかからないことも忘れないでください。糖質制限で主食を減らす前に、間食やアルコールなどの量を見直すことも必要ですね。※食事療養が必要な持病をお持ちの人には、適切な「糖質制限」などはお勧めできない場合があります。取り組まれる際は、一度主治医にご相談ください。



本別町国保病院
栄養士
佐賀 愛子

足寄町

第40回足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会

盆踊りや花火大会などさまざまな催し物で皆さんをお迎えします。そして今年は北海道日本ハムファイターズ公式マスコットB.B.とファイターズガールが会場を盛り上げます。ぜひご来場ください。

とき 8月15日(木)
午後1時30分～

足寄町民センター駐車場
利別川両国橋河川敷

陸別町

銀河の森天文台からのお知らせ

◆伝統的七夕キャンデルナイト
伝統的七夕が近づく1日、屋上広場の足元灯をキャンデルに替え、イス等を並べます。涼しい夜にのんびり星空を眺めませんか。

とき 8月7日(水)
※午後7時30分よりキャンデル点灯

◆木星・土星観望会
見ごろを迎えた木星・土星を、国内最大級の望遠鏡で観察します。

とき 8月7日(水)～18日(日)

内容

午後1時30分～ピアノ・ピアノ・ミニステージ・ショー

午後3時30分～子ども縁日

午後5時15分～みんなで楽しむ足寄音頭

午後5時45分～もちまき

午後6時00分～仮装盆踊り・素踊り

午後6時55分～仮装盆踊り・審査発表・表彰式・お楽しみ抽選会

午後7時15分～両国花火大会

※時間変更になる場合があります

お問い合わせ
足寄町役場経済課商工観光・エネルギー担当

251-2141 内線251

※説明会…午後7時30分から
(説明会は土曜日・日曜日のみ)

□開館時間 午後2時～午後10時30分
※8月10日(土)～18日(日)は正午から特別開館

□休館日 毎週月曜日・火曜日
※8月12日(月)・13日(火)は、特別開館

□入館料
大人(昼間) 300円 (夜間) 500円
小人(昼間) 200円 (夜間) 300円
※小学生未満 無料

□問い合わせ 銀河の森天文台
271-8100

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に囲まれてすくすく元気に育つてね！

美里別西中
伊藤 聖也
(副海海)



本別町青年協議会の会員を募集します

本別町青年協議会では、町内に在住または勤務している青年を対象に会員を募集しています。同協議会は、昭和39年に発足し、今年で56年目を迎えます。主な活動として、中高生ジュニアリーダー団体と協力して行なうごみ拾いボランティアや、いきいきほんべつふれあい祭りに出店もしています。他にも、町成人式の運営や研修旅行、クリスマス・節分の時期に行う保育所訪問など幅広い分野で活動を展開しています。

現在は、会員13人で活動していますが仲間を増やし、楽しく活動していきたいと思っています。私達と一緒に活動してみませんか？

申し込みおよび問い合わせ
本別町中央公民館内社会教育担当
(本別町青年協議会事務局)
22-5111



ご寄付ありがとうございます 令和元年6月16日から7月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上に厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町農業振興基金
金 10,000,000円
…… 本別町農業協同組合
代表理事組合長
佐野 政利



★本別町スポーツ振興基金
金 60,000円
…… 本別町民ゴルフ大会実行委員会 委員長 砂原 勝

★老人ホーム指定
タオル 221枚、バスタオル 24枚、ハンドタオル 4枚
…… 南4丁目自治会婦人部

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計 金 3,450,000円 …… 225人

戸籍のまど

お誕生

6月後半から
7月前半の
届出分矢野伊織^{いおり}くん 数馬^{かずま}さん 6/13 勇足西1薩田結菜^{ゆな}ちゃん 雅哉^{みや}さん 7/2 弥生町

ご結婚

(佐藤 恵一^{いさ}さん 足寄町
庄司 明菜^{あき}さん 柏木町

おくやみ

佐藤 春吉^{はるきち}さん 88歳 6/17 栄町會川 義市^{よし}さん 93歳 6/25 南4丁目有田 竹男^{たけお}さん 93歳 7/7 北8丁目久保 重信^{しげのぶ}さん 65歳 7/14 緑町

本のある暮らし

221

涼しくなれる？

怪談えほん

季節は夏真っ盛り、皆さんいかがお過ごしでしょうか。暑さに耐えられないときは、こわい話をおひとついかがでしょうか？

今回は、大人も子どもも楽しめる、「怪談えほん」シリーズをご紹介します。暑い夜に、すーっと背筋が冷たくなるような体験をお楽しみください。

怪談えほんシリーズとは？

子供たちに「怪談」を通じて想像力を養い、強い心を育んでほしいとの思いから、怪談や幻想文学で活躍する作家と、一風変わった作風の画家を集めて製作されたシリーズ。その怪しげな物語と、心に引っかかる絵は、きっと読んだ人の心の奥底を、刺激してくれることでしょう。このシリーズは現在9冊で、以下続刊が予定されています。(写真は現在図書館で貸出可能な7冊です)

恩田陸に引きずり込まれる
「かがみのなか」

夢に出てくる恐れがあります
「ちょうつがいさいさい」



宮部みゆきが問いかける
「悪い本」

わたしたちのまち

前月比

人口 6,977人(-6)

男 3,426人(+2)

女 3,551人(-8)

世帯数 3,650戸(-6)

〔6月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112